

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 30 日 (2014.1.30)

【公開番号】特開 2012-129719 (P2012-129719A)

【公開日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-026

【出願番号】特願 2010-278235 (P2010-278235)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 12 月 10 日 (2013.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

R A W 動画を現像しながら再生する画像処理装置であって、
前記 R A W 動画の各フレームの現像に用いる現像パラメータ値を生成する生成手段と、
前記生成手段により生成した現像パラメータ値を用いて前記 R A W 動画の各フレームを
現像する現像手段と、

前記 R A W 動画の再生を停止した時のフレームである第 1 フレームの現像に用いた現像
パラメータ値を保存する保存手段と、
 を有し、

前記生成手段は、停止した R A W 動画の再生を再開する時のフレームである第 2 フレ
ームの現像に用いる現像パラメータ値を、前記第 2 フレームから生成される現像パラメータ
値である中間パラメータ値と、前記保存手段により保存された前記第 1 フレームの現像に
用いた現像パラメータ値と、に基づき生成することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記第 1 フレームの現像に用いた現像パラメータ値のうち保存しない現像パラメータ値
を判定する判定手段を有し、

前記保存手段は、前記第 1 フレームの現像に用いた現像パラメータ値のうち、前記判定
手段により保存しないと判定された現像パラメータ値を保存しないことを特徴とする請求
項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記判定手段は、前記第 1 フレームから算出される色差値が所定範囲内の値である場合
、彩度を決定する現像パラメータ値を保存しないと判定することを特徴とする請求項 2 に
記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記判定手段は、前記第 1 フレームがシーンの区切りである場合、全ての現像パラメ
ータ値を保存しないと判定することを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

R A W 動画を現像しながら再生する画像処理装置の制御方法であって、

前記 R A W 動画の各フレームの現像に用いる現像パラメータ値を生成する生成工程と、
前記生成工程により生成した現像パラメータ値を用いて前記 R A W 動画の各フレームを
現像する現像工程と、

前記 R A W 動画の再生を停止した時のフレームである第 1 フレームの現像に用いた現像
パラメータ値を保存する保存工程と、
を有し、

前記生成工程は、停止した R A W 動画の再生を再開する時のフレームである第 2 フレーム
の現像に用いる現像パラメータ値を、前記第 2 フレームから生成される現像パラメータ
値である中間パラメータ値と、前記保存工程により保存された前記第 1 フレームの現像に
用いた現像パラメータ値と、に基づき生成することを特徴とする画像処理装置の制御方法
。

【請求項 6】

前記第 1 フレームの現像に用いた現像パラメータ値のうち保存しない現像パラメータ値
を判定する判定工程を有し、

前記保存工程では、前記第 1 フレームの現像に用いた現像パラメータ値のうち、前記判
定工程により保存しないと判定された現像パラメータ値を保存しないことを特徴とする請
求項 5 に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 7】

前記判定工程では、前記第 1 フレームから算出される色差値が所定範囲内の値である場
合、彩度を決定する現像パラメータ値を保存しないと判定することを特徴とする請求項 6
に記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 8】

前記判定工程では、前記第 1 フレームがシーンの区切りである場合、全ての現像パラメ
ータ値を保存しないと判定することを特徴とする請求項 6 に記載の画像処理装置の制御方
法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

本発明は、R A W 動画を現像しながら再生する画像処理装置であって、
前記 R A W 動画の各フレームの現像に用いる現像パラメータ値を生成する生成手段と、
前記生成手段により生成した現像パラメータ値を用いて前記 R A W 動画の各フレームを
現像する現像手段と、

前記 R A W 動画の再生を停止した時のフレームである第 1 フレームの現像に用いた現像
パラメータ値を保存する保存手段と、
を有し、

前記生成手段は、停止した R A W 動画の再生を再開する時のフレームである第 2 フレーム
の現像に用いる現像パラメータ値を、前記第 2 フレームから生成される現像パラメータ
値である中間パラメータ値と、前記保存手段により保存された前記第 1 フレームの現像に
用いた現像パラメータ値と、に基づき生成することを特徴とする画像処理装置である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明は、R A W 動画を現像しながら再生する画像処理装置の制御方法であって、
前記 R A W 動画の各フレームの現像に用いる現像パラメータ値を生成する生成工程と、

前記生成工程により生成した現像パラメータ値を用いて前記RAW動画の各フレームを現像する現像工程と、

前記RAW動画の再生を停止した時のフレームである第1フレームの現像に用いた現像パラメータ値を保存する保存工程と、
を有し、

前記生成工程は、停止したRAW動画の再生を再開する時のフレームである第2フレームの現像に用いる現像パラメータ値を、前記第2フレームから生成される現像パラメータ値である中間パラメータ値と、前記保存工程により保存された前記第1フレームの現像に用いた現像パラメータ値と、に基づき生成することを特徴とする画像処理装置の制御方法である。